

ボクは走^{はし}りたい



みち かた
道の片すみで

わんこがうずくまっていた。



ボクは、わんこを抱きかかえました。



わんこの後ろ足は、ありませんでした。

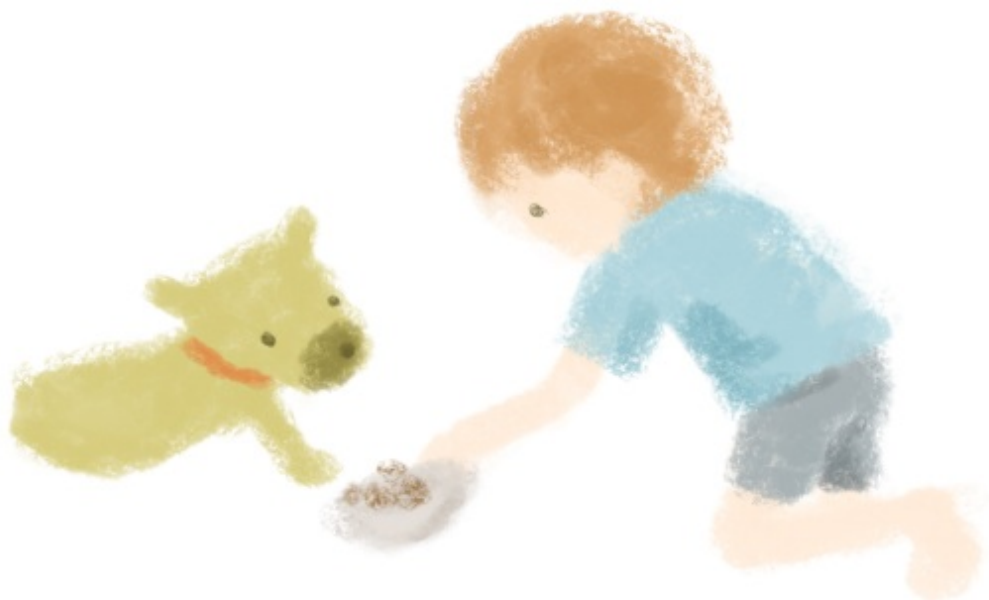
わんこをボクの家いえで飼かうことにしました。

わんこの名な前はルークなまえにしました。



ボクはルークせわの世話をしました。

ルークのごはんを^{はこ}運んであげたり



ルークをトイレに^{はこ}運んであげたり



おさんぽにも
連れて行ってあげました。



おさんぽ^{ちゅう}中のわんこに^あ会いました。

飼^かい主^{ぬし}のおねえさんは^い言いました。



かわいそうね

そのとき、ルークは
とてもさびしそうな^{かお}顔をしました。



なんで、そんな^{かお}顔をしたのか
ボクにはわかりませんでした。



^{かんが}考えているうちに
ボクは^{ねむ}眠ってしまいました。

^{ゆめ} ^{なか} 夢の中で、だれかが^{ちか}近づいてきました。



にほんあし た
二本足で立っているルークでした。



あのね、ボク
タロウくんにつたえたいことがあるんだ。

ボク、ほんとうは

じぶん 自分でごはんをた食べたいんだ。



じぶん トイレも自分でい行きたいんだ。

おさんぽだって

おそ 遅いかもしれないけど

じぶん 自分である歩きたいんだ。



め
目をさますと

ルークがボクの手^てをなめていました。



ボクは、お^き気^いに入りの
クルマのおも^だちゃを出しました。



クルマにルークをの乗せてみました。



ルークは、ゆっくり^{ある}歩き^だ出しました。



ルークは、うれしそうな^{かお}顔をしました。

すると、パパが
もっといいクルマを^{つく}作ってくれました。



ルーク、おさんぽにいこう！



おしまい